

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	日本語
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0067		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質化学工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション』ひつじ書房,新聞等の生教材				
担当教員	田上 栄子,高畠 智美,中河 和子				
<b>到達目標</b>					
1 ブックトーク等を通じて、情報（本や記事など）を批判的に読み、分析を行うことができる 2 談話構成を意識しながら、論理的で説得力のある伝え方をすることができる 3 2のために、効果的な表現は何かを考えて、視覚資料（PPTによる）が作成できる 4 自らの考えを深めるために、学生同士で学び貢献しあうことができる。（ピア・ラーニング（協働学習）） 5 キャリア形成を動機とする自己表現をすることができる					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	文章の構造を適切に読み取ることができる	おおよその文章の構造を読み取ることができる	文章の構造を読み取ることができない。		
評価項目2	情報をそのまま受け取らず、批判的に読むことができる	情報を理解することができるが、批判的に読むことができない	情報の理解が不正確で、しかも批判的に読むことができない		
評価項目3	自らの主張が聞き手にしっかりと伝わるような効果的な手法を用いて、資料が作成できる。	効果的ではなく、論理的な表現にも未熟な点がみられるが、主張をどうにか資料に表すことができる。	自分の主張を資料においてまとめることができない。		
評価項目4	クラスメイトの発表を聞いて適切な質問・コメントができるなど、相手と協働して、資料の考察を深めていくことができる	クラスメイトの発表を聞いて適切な質問・コメントができるが、考察に深まりはない。	クラスメイトの発表を聞いても、質問やコメントができず、相手の発表に関心が持てない		
評価項目5	将来のキャリアプランを描きつつ、自分の内面を分析し、他者に対して表現できる	将来のキャリアプランを描きつつ、自分の内面を分析し、他者に表現できる	自己の内面の分析ができず、紋切型の自己表現しかできない		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	1 ブックトーク等を通じて、情報（本や記事など）を批判的に読み、分析を行うことができる 2 談話構成を意識しながら、論理的で説得力のある伝え方をすることができる 3 2のために、効果的な表現は何かを考えて、視覚資料（PPTによる）が作成できる 4 自らの考えを深めるために、学生同士で学び貢献しあうことができる。（ピア・ラーニング（協働学習）） 5 キャリア形成を動機とする自己表現をすることができる				
授業の進め方・方法	講義（20%）B（100%）、授業手法1 演習（80%）B（50%）C（50%）、授業手法3・4・6				
注意点	授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・オリエンテーション ・文の基本（復習）		
		2週	・文の基本（復習） ・要約	論理的な文章を書くときの文体・表現について復習する 複数の段落から成る文章が要約できる	
		3週	・要約 ・引用	他者の意見を引用するときのルールを知る	
		4週	・アウトライン（復習）	アウトラインのモデルを知る 文章の構成をつかみ、アウトラインが書ける。	
		5週	ブックトーク テーマ探し	ブックトークの意義を知り、共通して調べるテーマを探す	
		6週	ブックトーク 情報を探す	情報を検索する	
		7週	ブックトーク 情報を読んで伝える	探した情報の主張と根拠の構造を分析できる 互いに情報を伝え合って比較する	
		8週	ブックトーク 情報を読んで伝える	探した情報の主張と根拠の構造を分析できる 互いに情報を伝え合って比較する	
	2ndQ	9週	ブックトーク アウトラインを書く	複数の情報を比較分析して、構造をまとめる	
		10週	ブックトーク 発表準備をする	複数の情報を比較分析して、構造をまとめる 発表のための資料を作る	
		11週	ブックトーク 発表準備をする	発表のための資料を作る PPTの効果的なレイアウトを考える	
		12週	ブックトーク 発表	発表への質問・コメント・評価を通じ、考察を深める	
		13週	・面接（面接手法） ・想定質問の作成のために	内面を見つめ、将来のキャリア形成の動機付けを行う	
		14週	・面接準備:想定質問回答の練り直し/添削	内面を見つめ、将来のキャリア形成の動機付けを行う	
		15週	期末テスト	模擬面接	
		16週	フィードバック		

後期	3rdQ	1週	困っていること	対話の手法を使って、現在の自身の問題を明らかにすることができる
		2週	日本人と友だちになるには	対話の手法を使って、日本人とのコミュニケーションについて考えることができる
		3週	調査から発表へ 調査するテーマを決め、手順を考える	学生生活の中で、同世代が関心のあるテーマは何か、あるいは行動パターン等に注目し、その傾向を知るための調査を行う
		4週	調査から発表へ 文献調査、アンケート調査の実施計画	アンケート調査の手法について学ぶ
		5週	調査から発表へ 結果を分析し、資料を準備する	結果の分析をし、まとめる
		6週	調査から発表へ 発表	
		7週	旅行の計画 富山の観光ビデオを見て	映像読解のスキル 地域の魅力を伝えるための語彙・表現に触れる
		8週	旅行の計画 計画立案	旅行の目的を決め、プランを立てる
	4thQ	9週	旅行の計画 旅先の魅力を伝えるためのプレゼン	他者に自らの主張を効果的に訴えるためのの手法を考える
		10週	旅行の計画 発表	
		11週	私と外国語学習	ピアリーディング： クラスメイトと対話することで理解を深める
		12週	私と外国語学習	ピアリーディング： 対話を通じて自分の考えを深める 作文にまとめる
		13週	私と国	ピアリーディング： クラスメイトと対話することで理解を深める
		14週	私と国	ピアリーディング： 対話を通じて自分の考えを深める 作文にまとめる
		15週	期末試験	
		16週	フィードバック	

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

#### 評価割合

	試験	平常点(授業への参加度 課題)	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0